

2002年6月3日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

## ハイパフォーマンスアプライアンス製品で、サービスプロバイダのコストダウンを実現 NVC、Array Networks 社と国内販売代理店として契約

### 記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表：渡部進、以下略称：NVC）は、統合型ウェブトラフィックマネジメント機器を開発・販売する Array Networks 社（アレイネットワークス社、本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、社長：Lawrence. T. Lu、以下アレイ）と、日本における代理店契約を締結し、国内販売を開始します。

Array シリーズは、複数の機能を1つ集約したアプライアンス製品です。

1. サーバ負荷分散装置
2. SSL アクセラレータ
3. リバースプロキシキャッシュ
4. Web セキュリティ
5. クラスタリング
6. 広域負荷分散
7. コンテンツリライト

以上7つの機能（別記7つの機能を参照）を一つのBOXに統合した、全く新しい画期的なアプライアンス製品です。それぞれの機能を単純に凝縮しただけでなく、数々の技術により、高コストパフォーマンスを実現しています。

商品構成は、小規模 Web サイトを向け Array500、大規模向け Array1000 の2モデル。さらに各上位機種種の i シリーズ（Array500i と Array1000i）がラインナップされています。

サービスプロバイダやデータセンタなどでは、様々な機能を持ったネットワーク機器をそれぞれに調査・購入・検証、また、実際の構築には高度な SI が構築する必要がありました。

サービスイン時には、膨大な機器費用やインストール費用がかかり、運用開始後は保守・メンテナンス費用、ラックなどのホスティング・コロケーション費用がかかる他、電源容量やメンテナンス性の問題がありました。

このほかにも性能的な部分では相互接続の部分でトラブルやカタログどおりのパフォーマンスを享受できないケース、運用の部分では細かなファームウェアのバージョン管理や、資産管理、メーカーごとに違う機器オペレーションのためトレーニングコストと手間など既存のシステムで問題になっているユーザが多く存在します。

以上のようなユーザは Array シリーズを導入することにより、機器費用や設備費用やメンテナンスコスト削減が可能になる上、従来にない性能とセキュリティおよびスケーラビリティを実現することができます。

# NVC NETWORK VALUE COMPONENTS

NVC は、これまで手掛けてきたウェブソリューションのノウハウをもとに、日本におけるセールスとサポート、カスタマサポートなどの包括的パートナーとして、サービスプロバイダをターゲットにストリーミングなど大容量コンテンツを抱えるコンテンツホルダや IDC、ISP とモバイルコンテンツ提供会社などを中心に販売していきます。

価格： オープンプライス（市場実勢価格 179 万円見込み～）

販売目標： 初年度 2 億円

## 【Array1000i】



## 【Array500i】



### 【7つの機能詳細】

#### 1. サーバ負荷分散装置

外部ネットワークからの要求を一元的に管理し、同等の機能を持つ複数のサーバに要求を転送する装置。

Array は、クラスタリングで冗長構成を実現します。サーバ異常時には 2 秒以内にフェイルオーバーを実現し、切り替わりサービスダウンを防ぎます。

【既存製品】：Nortel/Alteon AceDirector3, 4, F5

#### 2. SSL アクセラレータ SSL による暗号通信で送受信されるデータの暗号化・復号化を高速に行います。

データの暗号化・復号化には膨大な処理が必要なため、Web サーバで処理を行うと多くの計算資源を暗号化・復号化に費やしてしまい、暗号化しない場合に比べ著しくパフォーマンスが低下します。このため、暗号処理のみを行うハードウェアを用意することによって、サーバの負荷を軽減することが可能となります。IDC などでは専用ハードウェアを導入することが主流になっています。

Array では、TCP スタック経由せずオンボードで搭載されているアクセラレータチップで処理を行うため高速かつ安定した動作を行うことが可能です。

【既存製品】：Alteon 社 iSD-SSL や F5 社 BIG-IP SSL アクセラレータなど

#### 3. リバースプロキシキャッシュ

リバースプロキシキャッシュはプロキシキャッシュとは「逆」で、無数に存在する文書、オリジナルのサーバ、ドメインからコンテンツをインターネット上の多数のユーザに提供する際に使用されるものです。サーバ上のコンテンツが要求されると、リバースプロキシキャッシュでまず受信され迅速な処理が行われます。リバースプロキシキャッシュには、頻繁にアクセスされるデータが格納されているため、要求されたコンテンツがキャッシュに格納されていれば、オリジナルのサーバにアクセスせずに、リバースプロキシキャッシ

ユからすぐに配信されます。したがって、サーバにトラフィックの負荷をほとんどかけずに、コンテンツをより効率的に提供できます。

Array はメモリベースの高速キャッシュテクノロジーで、1 秒間に 28,000 HTTP リクエストを処理することが可能です。

Web サーバへのアクセス軽減や Web サーバから IO 処理にかかる負荷を軽減、Web サーバに変更を加えず、パフォーマンスを向上することや、プリロード機能でコンテンツを事前準備や、キャッシュ統計情報などを管理することが可能です。

【既存製品】: Inktomi など

4. Web セキュリティ 組織内のコンピュータネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステム、俗に言うファイヤーウォールです。

Array では、機器の性格上 WEB に特化したファイヤーウォールとすることができます。

外部からの不正アクセス、アタックを Array が防御、近年主流になりつつあるハードウェアベースのファイヤーウォールでステートフルインスペクションで実現しています。

5. クラスタリング

複数のコンピュータを相互に接続し、ユーザや他のコンピュータに対して全体で 1 台のコンピュータであるかのように振舞わせる技術。複数のコンピュータを 1 台のコンピュータを扱うように管理することができる。1 台が停止してもシステム全体が止まることはなく、処理を続行したまま修理や交換が行える。この間、外部からはシステムの性能が落ちたようにしか見えない。また、接続するコンピュータの台数を増やすだけで性能の向上をはかることができる Array では、独自開発によるクラスタリング技術により、Array の負荷状態や動作状況を相互に監視しながら独立した処理ができます。

また、Array1000 は最大 32 台のクラスタ接続が可能で、これにより約 16Gb のスループットを実現します。

独自のクラスタ技術により、障害発生からフェイルオーバーによるサービス復旧まで 5 秒以内に完了致します。

6. 広域負荷分散

複数のサイト上で動作しているサイト負荷分散機能を提供するサーバの稼動状況を集中的に管理し、利用者からのリクエストを最適なサイトのサーバに転送することで、サイト間の負荷バランスを最適に保ち、ネットワーク全体でのトータルパフォーマンスを最大限に引き出す次世代の高信頼負荷分散システムです。

Array は地域的に異なる複数のデータセンタ間で広域負荷分散を行うことで、より高速で、信頼性のあるネットワークを構築できます。

最高 32 サイトの構築が可能で、マスターが各サイトの負荷情報を収集し、DNS 要求に応答します。分散方法は負荷、URL、VIP/Site でラウンドロビンなどがあります。

【既存製品】: RADWARE, F5 など

7. コンテンツリライト

ウェブサイトを分散してホスティングすることを可能にした機能で、その主な機能は、コンテンツ配信と分散したウェブサーバの同期、ダイナミックリダイレクションを行うというものです。

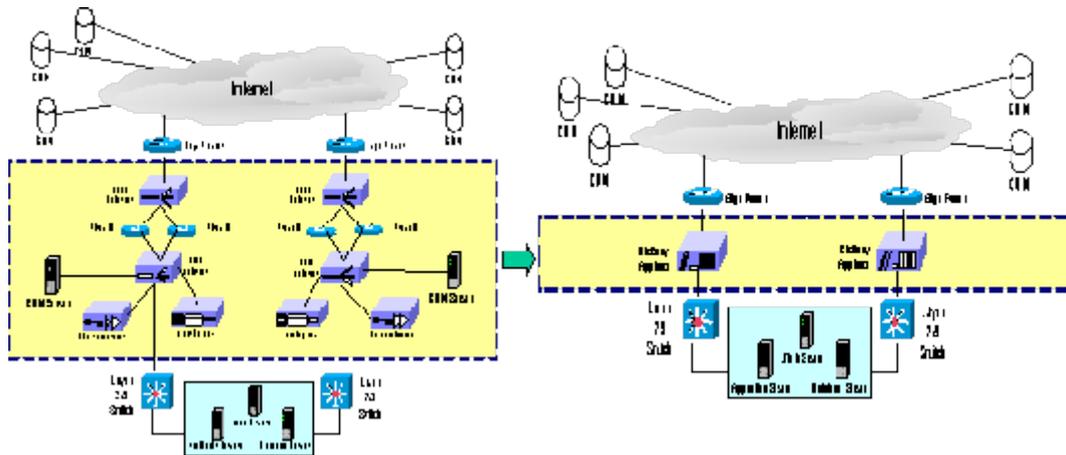
またウェブ上のコンテンツにアクセスしようとするユーザを最適なサーバにリダイレクションすることができます。従来の DNS ベースではなく、ブラウザベースでの HTML ルーティングを実現しており、ウェブサーバ同士の通信により自動的にコンテンツを配信します。

また、一部メーカーが開発した Dynamic コンテンツなど、注釈にも既に対応しています。

【既存製品】: RADWARE, ALTEON など

# NVC NETWORK VALUE COMPONENTS

【参考】アレイを導入することにより、ロードバランサーやキャッシュサーバなどの機器の効率化が行えることを示す図



【アレイネットワークス社 (Array Networks 社) について】

アレイネットワークス社は、米カリフォルニア州サンノゼに2000年4月に設立されました。

H & Q Asia Pacific ・U.S. Venture Partners ・Comdisco Ventures などが出資しています。

セールス拠点はアメリカ・フランス・ドイツ・イギリス・日本・韓国・シンガポール。現在100名のスタッフで運営しています。

Web システムに特化した次世代のソリューションの開発、販売、およびサポートを行っています。

以 上